

島根県教育センター出前講座

つなぐ! つなげる! 教科等横断的な学びの 第一歩

島根県教育センター浜田教育センター研究・研修スタッフ

教科等横断的な学びのメリット

- 単元（題材）や単位時間の意義付けを一層明確にすることにより、**限られた時間の中での実践の効果を高める。**
- 学習内容、教材、学習方法、体験活動を、複数の教科・領域で**繰り返し活用したり関連づけたりすることにより、学びが深まる。知の活用可能性**（特定の教科の知識が他の教科や生活でも使えるということ）を**児童生徒が実感できる。**
- ひとつの体験や学習内容を複数教科に活用することにより、**新たな体験や教材の追加や特設授業を抑制し、カリキュラムのスリム化につながる。**
- 教師に、**カリキュラム全体で子どもを育てる意識を促し、先の見通しをもった実践へつながる。**

本動画の内容

1. 「教科等横断的な学び」とは？
2. 「教科等横断的な学び」に
取り組むためのポイント

1. 「教科等横断的な学び」とは？

「答申」が示す子どもの姿

社会的・職業的に自立した人間として、我が国や郷土が育んできた伝統や文化に立脚した広い視野を持ち、理想を実現しようとする高い志や意欲を持って、主体的に学びに向かい、必要な情報を判断し、自ら知識を深めて個性や能力を伸ばし、人生を切り拓いていくことができる。

対話や議論を通じて、自分の考えを根拠とともに伝えるとき、他者の考えを理解し、自分の考えを広め深めたり、集団としての考えを発展させたり、他者への思いやりを持って多様な人々と協働したりしていくことができること。

変化の激しい社会の中でも、感性を豊かに働かせながら、よりよい人生や社会の在り方を考え、試行錯誤しながら問題を発見・解決につなげていくことができること。

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（中教審第177号）

ジグソーパズル型思考力から ブロック型思考力へ

ブロックの取得



知識・技能

ブロックの組立



思考・判断・表現



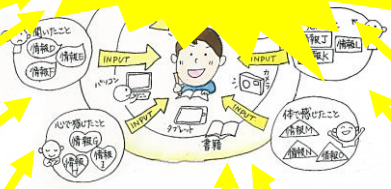
確かな学力

完成形は設定されていない。
自分の考え次第。（答えはない、無限にある）
手持ちのブロックを工夫しながら組み立てる。



鳥取県指導主事・社会教育指導員協議会（2020）
佐藤教授監修により（図解）土井伸之氏作成

児童自らの 知の統合化！

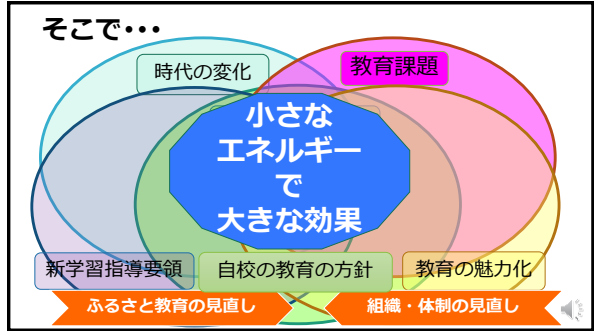
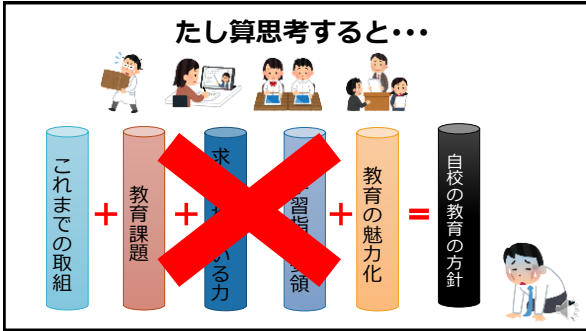


これ以上何を求めるの？

- ・行事が盛りだくさん！
- ・地域に出かける活動はあるけど・・・
子ども教職員も やらされてる感がいっぱい！
- ・解決しなければならない案件が次々と・・・！

あれも・・・
これも・・・
することが山積み！！

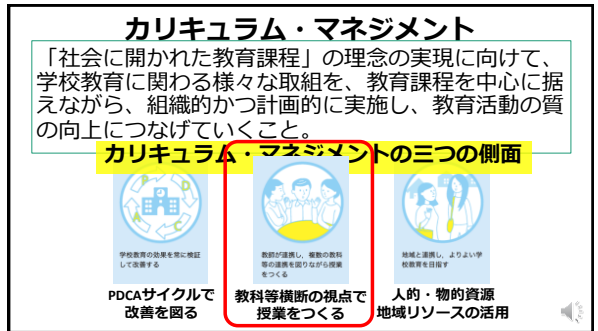




カリキュラム・マネジメントとは
 (中央教育審議会「答申」2016.12.21)

各学校には、学習指導要領等を受け止めつつ、子供達の姿や地域の実情等を踏まえて、**各学校が設定する学校教育目標を実現するために、学習指導要領に基づき教育課程を編成し、それを実施・評価し改善していくことが、求められる。**これがいわゆる「カリキュラム・マネジメント」である。

引用：NITS 独立行政法人教員支援機構 「カリキュラム・マネジメントとは」千葉大学特任教授 高野茂子様は、スライド作成者による。



教科等横断的な視点

「論点整理」

これからの時代に求められる資質・能力を育むためには、各教科等の学習とともに、**教科等横断的な視点**で学習を成り立たせていくことが課題となる。そのため、各教科等における学習の充実はもとより、教科等間のつながりを捉えた学習を進める観点から、教科等間の内容事項について、相互の関連づけや横断を図る手立てや体制を整える必要がある。

「各教科ならではの」の教科の本質に迫る学習を生み出す一方、**一教科に限定されない汎用的な資質・能力を様々な教科・領域で総合的に育成する視点**でカリキュラムを編成すること

教科や領域の枠にとらわれず、それらをつなげていく見方

(原田和子・村川博弘・吉岡芳正・高岡知佳恵『カリキュラムマネジメント・ハンドブック』ぎょうせい、2019年)

学習指導要領で確認してみましょう

育成を目指す資質・能力の具体例（平成28年中教審答申では以下に大別）

- 例えば国語力、数学力などのように、**伝統的な教科等の枠組みを踏まえながら、社会の中で活用できる力としての在り方について**論じているもの。
- 例えば言語能力や情報活用能力などのように、**教科等を越えた全ての学習の基盤として生まれ活用される力について**論じているもの。
- 例えば安全で安心な社会づくりのために必要な力や、自然環境の有限性の中で持続可能な社会をつくるための力などのように、今後の社会の在り方を踏まえて、**子供たちが現代的な諸課題に対応できるようにするために必要な力の在り方について**論じているもの。

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編（平成29年7月）

学習指導要領で確認してみましょう

育成を目指す資質・能力の具体例（平成28年中教審答申では以下に大別）

- 例えば国語力、数学力などのように、**伝統的な教科等の枠組みを踏まえながら、社会の中で活用できる力としての在り方について**論じているもの。
- 例えば言語能力や情報活用能力などのように、**教科等を越えた全ての学習の基盤として生まれ活用される力について**論じているもの。
- 例えば安全で安心な社会づくりのために必要な力や、自然環境の有限性の中で持続可能な社会をつくるための力などのように、今後の社会の在り方を踏まえて、**子供たちが現代的な諸課題に対応できるようにするために必要な力の在り方について**論じているもの。

教科等横断的な視点からの指導のねらいの具体化
教科等間の指導の関連付け

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編（平成29年7月）

学習指導要領で確認してみましょう

育成を目指す資質・能力の具体例（平成28年中教審答申では以下に大別）

- 例えば国語力、数学力などのように、**伝統的な教科等の枠組みを踏まえながら、社会の中で活用できる力としての在り方について**論じているもの。
- 例えば言語能力や情報活用能力などのように、**教科等を越えた全ての学習の基盤として生まれ活用される力について**論じているもの。
- 例えば安全で安心な社会づくりのために必要な力や、自然環境の有限性の中で持続可能な社会をつくるための力などのように、今後の社会の在り方を踏まえて、**子供たちが現代的な諸課題に対応できるようにするために必要な力の在り方について**論じているもの。

ア：言語能力 イ：情報活用能力
ウ：問題発見・解決能力

*各学校においては児童の実態を踏まえ、学習の基盤作りに向けて課題となる資質・能力は何かを明確にし、カリキュラム・マネジメントの中でその育成が図られるように努めていくことが求められる。

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編（平成29年7月）

学習指導要領で確認してみましょう

育成を目指す資質・能力の具体例（平成28年中教審答申では以下に大別）

・例えば国語力、数学力などのように、**伝統的な教科等の枠組みを**

現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力

（小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編 付録6）

・例えば安全で安心な社会づくりのために必要な力や、自然環境の

有限性の中で持続可能な社会をつくるための力などのように、今後の社会の在り方を踏まえて、**子供たちが現代的な諸課題に対応できるようにするために必要な力の在り方について**論じているもの。

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編（平成29年7月）

教科横断的：教育課程全体で取り組む課題

○現代的な課題

・環境教育 ・キャリア教育 ・情報教育 ・防災教育
・食育 ・ESD ・プログラミング教育 など

○育成を目指す資質・能力

3つの柱のバランスの取れた実現

- (1)知識及び技能が習得されるようにする
- (2)思考力、判断力、表現力等を育成する
- (3)学びに向かう力、人間性等を涵養する

○言語活動の充実＜横串を指す＞

取組の切り口として、
参考にしましょう！



引用：WTC 総合行動計画推進部編「カリキュラム・マネジメント」千葉大学特任教授 天野真

まとめ1



- * 学校教育目標の達成のために、組織的につながっていくことが大切。
- * 学習指導要領に示されている「カリキュラム・マネジメント」には、三つの側面がある。
- * その中の一つが「教科等横断的な視点」。
- * 今後必要になってくる資質・能力を育成するには、教科の枠だけにとらわれない実践が必要となってくる。

2. 「教科等横断的な学び」に取り組むためのポイント

教科等をつなげるのは、「資質・能力」？「内容」？

授業では、「何」をつなげればいいの？

教科等をつなげるのは、「資質・能力」？「内容」？

◎その教科や領域で目指す資質・能力

例えば

- ・各教科等の枠組みを踏まえて育成を目指す資質・能力
- ・学習の基盤となる資質・能力
- ・現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力

◎授業等での学習テーマや学習事項のこと

内容

資質・能力

教科等をつなげるのは、「資質・能力」？「内容」？

海の歌

海に関する教材文

海の絵

海の面績

海の産物

海水の塩分濃度

水泳

海のことを
いろんな教科で
考えるだけでいいの？
どんな力が育つの？

例：小学校1年生

国語 「せつめいする文しよう」をかこう

生活 「わたしの町はっけん」

生活 「かぞくをえがおにするほかほか大きくせん」

体育 「表現遊び」で良さを友達に伝える

算数 せんぶで(ごうい、かさ)

音楽 「よつすをおもいうかべよう」

図画工作 自分の作品に名前をつける

言葉の働きや役割に関する理解


「言葉の働きや役割に関する理解」
→自分が用いる言葉に対するメタ認知に関わることをこのことを中心に据え、軸として関連する資質・能力をつないでいく

はまだ小学校

学校教育目標 豊かで健やかな身ともに健康で、 たくましい実践力を身につけた児童の育成
研究主題

軸となるものは・・・？
提案！

 まずは、ここを中心に
 教科等横断を
 考えてみましょう！

まとめ2 

- * つなぐのは「内容」以上に「資質・能力」でつないでみる！
- * 中心となる軸となるのは何か考え、チームで取り組む！

カリキュラムとか、
 大きくてハードル
 が高い・・・



授業（教科等）で
 何を身につけるか
 明確にして、
 それが深まるよう
 に考えないと...

**資質・能力でつなげることを
目指しましょう！**